

基礎知識を確実に習得し、
さまざまな問題に対応できる思考力と表現力を身につけます。

4年生の社会では、学校の授業を先取りして、おもに地理分野を学習します。まずは都道府県学習で日本地理の全体像をつかんだうえで、気候や農業などを体系的にインプットします。要点と授業映像で重要な事柄を理解し、確認問題を用いて知識の定着と理解を深めます。その後、基礎的な知識を確認する問題から中学入試で必要とされる思考力や表現力を要する問題まで幅広い演習をとおして、入試の土台を確立し、基礎力を完成させます。

学習例：◎入試に必要な地理分野の基礎知識の定着と応用力の養成

●模式図や写真からイメージをつかんでスムーズに理解

要点では、図や写真などの資料を効果的に用いることで理解を促し、社会科への興味・関心を引き起こします。文章だけでは理解しにくい概念も模式図を用いて説明することでイメージしやすくなります。そのため、自宅での先取り学習でも確実に理解することができます。

要点

3 四季の特ちょう②

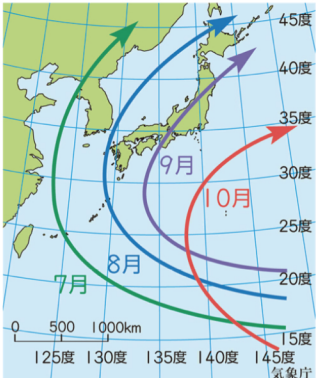
- 先生の授業を見る
- 自分で要点を読む

① 夏の様子 一台風が来る季節

夏には南東の季節風がふきます。小笠原気団のあたたくしめった空気がやって来て、むし暑い日が続きます。

南の海では台風が発生し、暖流の上で蒸発する水を雲に変えながら成長し、強い雨と風で各地に災害をもたらします。8月から9月の台風が日本をよくおそいます。

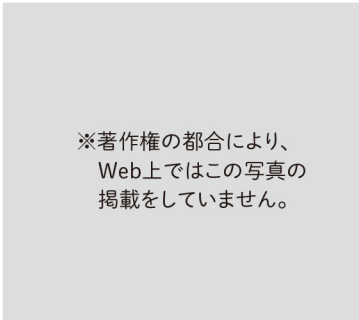
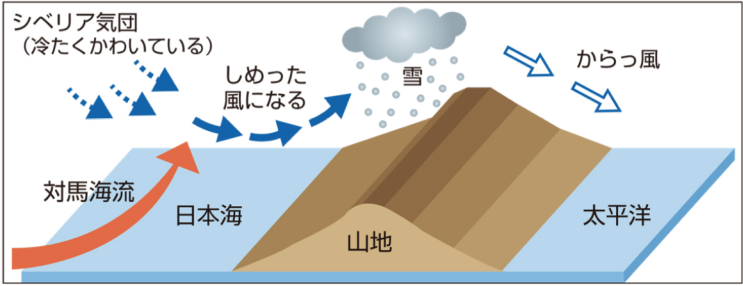
東北地方の太平洋側では、初夏にオホーツク海気団のいきおいが強いと、「やませ」という冷たくしめった北東の風がふき、稲作などに冷害をもたらすことがあります。



台風の進路

② 冬の様子

冬になると、冷たいシベリア気団から日本海側に向かって、北西の季節風がふきます。北西の季節風は日本海を流れる暖流の対馬海流の上で水蒸気をふくんでしめった風になり、日本海側で山にぶつかって大量の雪をふらせませす。反対に、太平洋側にはかわいた風がふきおろし、晴れた日が続きます。この風は、関東地方では「からっ風」とよばれます。



冬の様子（新潟県）

●要点の漢字練習（筆順アニメ）

中学入試では、社会科の用語を漢字で書くことを求められることが多くあります。筆順アニメによって、学校ではまだ習っていない漢字も日々の学習の中で正しく書けるようになります。

漢字練習 1

※ペンツールを使うときは、画面の□をタップしましょう。ペンツールを使った後に次のページに進むときは、□をタップして、ペンツールを閉じてから進みましょう。

筆順

季節風

書き順

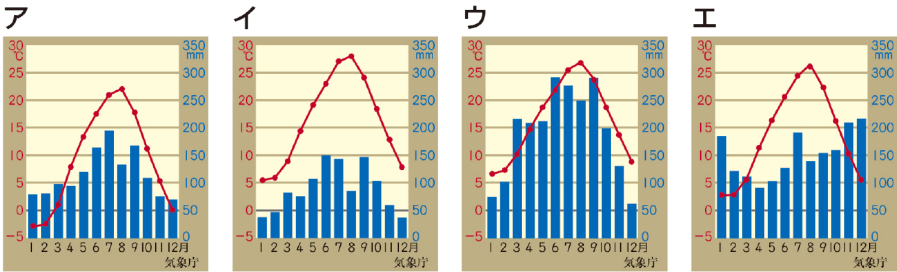
季節風

お手本を 表示する 表示しない

練習問題

2 香川県について、次の問いに答えなさい。

(1) 次のア～エから、高松市の雨温図を一つ選び、記号を書きなさい。



(2) 香川県には多くのため池が見られます。その理由を、上の雨温図を参考にしながら、簡単に説明しなさい。

●思考力を要する問題

中学入試では、思考力・表現力を問う問題が出題されます。練習問題では、要点で学習した知識と資料から読み取った情報を結びつけて考える実践的な問題を出題します。4年生のうちから、このような問題に取り組むことで、入試で求められる多面的・総合的に考える力を養うことができます。